



—コンクリート舗装工事(西組BP)—

目次

Contents

理事長ご挨拶	2
令和元年度品質管理監査について	3～6
コンクリート診断士・主任技士・技士合格者	6～8
経営者セミナー開催される	9
北から南から	9
事務局だより	10
編集後記	10

理事長ごあいさつ

長野県生コンクリート工業組合 理事長
長野県生コンクリート協同組合連合会 会長

山 浦 友 二



組合員の皆様には、日ごろから、工業組合並びに協同組合連合会の事業運営に格別のご理解、御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

新たな役員体制で発足した令和元年度も年度末を迎えようとしています。

本年度も生コン需要が減少する中での非常に厳しい環境のもと、組合員の皆様のご協力をいただきながら、技術力の一層の向上や経営基盤の強化、需要拡大、組織力強化など、様々な課題に対応した取り組みを行ってまいりました。

このような中で、昨年十月には、東北信地方を中心に台風十九号による大きな災害が発生し、組合員の工場にも大きな被害が発生しました。

改めて、被災した皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

被災された工場も年明けにはすべて復旧し、稼働しておりますが、

自然災害の少ない長野県において、常日頃から災害への備えがいかに重要かを私自身痛感したところであり、安心で安全な生活を維持していくうえで、生コンを使用した強固な減災・防災施設の整備促進が急務であることが、以前にも増して多くの方々に認識されてきたように感じています。

私たち、生コン業界には、インフラ整備の基礎資材産業として、高品質な生コンクリートの安定的な供給をしていく使命があります。現在、国や県によって進められている減災・防災・国土強靱化関連事業を始め、今回の災害復旧事業に対し、ユーザーをはじめ地域住民の期待に応え、地域の発展、復興に貢献していくことが強く求められています。

組合員の皆様には、日頃から一層の技術研鑽に努められるとともに、組合員が一致団結し、高品質な生コンの安定供給に向けて、引き続き、ご尽力いただきますようお願いする次第です。

民間需要が内外の様々な要因に左右される中で、工業組合といたしましては、公共事業費の一層の増額と災害に対して強靱な県土を築くため、関係業界とも連携し、堰堤や堤防の生コンによる築造やライフサイクルコストにも優れたコンクリート舗装の積極的な採用を、国や県などの発注機関に対して強く働きかけ、今後の生コン需要の一層の拡大に努めてまいりたいと考えていますので、組合員の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

終わりに、組合員の皆様の一層のご発展とご活躍をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

令和元年度

品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議議長

大上 俊之

長野県コンクリート品質管理監査会議の議長として本年度の総括を述べさせていただきます。実施状況は、通常監査として、前年度と同様の七〇工場七一プラントを実施しました。査察は、全国基準に照らし、前年度合格証交付工場の一割以上を実施すること、八工場を実施しております。また、査察については、全工場に議長あるいは副議長が立会うこととし、実施してまいりました。

結果の審議は去る十二月十八日に開催した第三回監査会議において全工場の監査合格と査察の適合及び確認検査一工場の確認を承認しました。詳細については二月三日の監査報告会において報告を行ったところです。本年度も前年度に引き続き、是正処置が一件あり、その改善を要求し、処置確認

のため再監査を実施しました。幸いにして、問題点の改善が確実に実施され、監査会議において適合との評価を得ております。年々、ユーザーからの要求ばかりでなく、社会的要求も厳しくなってきております。現存する問題点の改善に当たるだけでなく、さらに先に進んだ対応を取り、日々の持続した取り組みを確実に進めていただくようお願いいたします。

令和元年度品質管理監査については、方針を「指導要望事項の削減と呼び強度比の低減」、及び「品質管理に対する意識の向上」として進めてまいりました。結果の詳細につきましては、令和元年度報告書に記載された通りですが、ここでは本年度の成果報告と、今後の取り組みについての考えを申し上げます。

本年度の監査方針の結果は、是正事項及び前年度の改善率向上に未達成がありました。指導要望事項の大幅な低減など、それ以外の目標は達成されました。

「呼び強度比の低減」については平均値1・30の目標値に対して1・30、1・50以上の工場数0の目標に対して0工場となり目標値を達成しました。前年度の指導要望事項の是正率九七%以上の目標に対しては、指導要望事項の件数が減ったため、九五・七%の実績となり、未達成となっております。「指導要望事項の削減」については、指導要望事項数六〇件以下に対して四八件となり、昨年実績より大幅に減少して、目標達成となっております。各項目の比率は前年度とほぼ同様となっております。全体の五八%を占める総括的事項については、公害防止関連、外部文

書管理、品質方針対応に不備がありました。また、二三%となっている実地検査については、試料採取手順及び各種試験手順における不備が見受けられました。

トータル減点数については、前年度より平均値が増加し、減点0の工場もやや減少し、工場全体の七七%、五四工場となっております。また、指導要望事項なしの工場が



表-1 指導要望事項の項目別内容

指導内容	件数	詳細 (不備部分の説明)
総合的事項	公害防止	8 産廃状況報告の未報告、使用届出書更新、排水管理不備
	外部文書	5 土木学会示方書、JIS規格票
	品質方針	5 マネジメントレビュー規定・記録の不備、品質方針の具体化
	記録類	5 書式、記録不整合、押印、チェックミス
	社内規格見直し	3 規定及び記録との不整合、異動等に伴う改正未実施
	社員教育	1 計画の未実施 (品質管理責任者)
	不適合管理	1 予防処置の記録不備
材料	受入れチェック	1 セメント受入記録不備
配合	配合の確認	1 配合管理、登録手順の不整合
製品	管理図	1 管理図管理線の不整合
	契約内容の確認	1 押印等による相互確認の不備
設備	検査設備	3 器具規定と機器管理規定不足、計量印字記録装置の管理不備
	製造設備	1 スtockヤードの水溜り
工程	工程管理	1 運搬記録の不備 (完了時間)
実地	試験方法	10 試料採取場所、扱い、各試験手順の見直し
	再検査など	1 容積不適合
合計	48	

前年度より増加し、三六工場となつていきます。
 指導要望事項に対する改善計画書の1か月以内の提出について、三四工場が対象となりましたが、すべてが期間内に提出されました。ただし、提出必須の是正処置報告書未提出及び誤記入により、再提出を求めた工場が六工場あつ

たことなど、周知徹底不足が要因と考えます。引き続き基本的な取り組みについて、品質管理監査開始前に行う品質管理責任者説明会での、周知方法を再考することが必要と考えています。令和二年度においても前年度同様、この説明会をより有効的にするため、説明内容の周知が出席者及び各工場担

当者全員に、確実に伝達したかを、説明会実施時と監査実施時の両方で調査することとしております。ご協力をお願いいたします。
 最後に、監査内容の分析結果として指導要望事項の詳細な内容を表-1として示しました。それぞれ

れの項目を自工場の課題として取り組み、改善を進めていただきたいと思ひます。その他のデータについても、別資料として公表いたしますので、次年度への活用をお願いいたします。

品質監査を終えて

長野県生コンクリート品質管理監査会議副議長

遠藤典男

本年度は十月の台風十九号において、組合員の中にも被災された工場があり、遅ればせながら本誌面にてお見舞い申し上げます。さて、昨年十二月開催された品質管理監査会議におきまして、大方の工場に対し監査と査察の結果が合格と判定されました。さらに、被災された工場のうちの一工場に対しましても、一月にはなつてしま

場が適合と判断されました。ここに、監査と査察に対応いただいた工場関係者各位、被災した工場の復旧にご尽力された方々、並びに長野県生コンクリート工業組合の皆様へ深甚なる敬意を表します。
 監査に関しまして、減点項目が0の工場が八割弱であり概ね良好な結果と感しました。一方、年度当初に「是正勧告0件、指導要望事項六〇件以下を目標とする」「前年度指摘事項の是正率九七%



品質管理監査 副監査員を終えて

大鹿レミコン株式会社

飯島美緒

も発生しましたが、再監査により合格と判定されました。突発的なトラブルと考えられませんが、日々の作業においても全ての工場で起こる可能性のある事象であり、これを機に想定される種々の問題への対処法なども周知徹底の必要があると感じました。また、容積不足や品管取得者の不足、校正機器の問題など、比較的大きな減点となった審査項目が散見されましたので、併せてご留意いただきたくお願いいたします。

以上を目標とする」ことを設定しましたが、結果は、是正勧告一件、指導要望事項四八件、是正率九五・七%となり、残念ながらも目標達成はなりませんでしたが、大変厳しい目標であるとは思いますが、来年度も同程度の目標が設定されると思われるので、達成に向けて今から準備の程お願いいたします。ここで、監査に際して、動荷重検査が実施できないというトラブル

年も明け、本年は東京オリンピックが開催されますが、オリンピックが終わった後の景気動向も気になることところです。オリンピック後においても、構造物・建築物が造られ続け、その主要な材料の一つである生コンクリートの品質を維持し生産することが後世に対する責任と考えます。

二年間の品質管理監査副監査員を無事に終えました。大きな失敗もなく努められたのも、品質管理監査に係わる皆様を始め、担当させて頂いた工場の皆様そして、宮島主任のお心遣いがあったからこそと思っております。この場をお借りして、心からお礼申し上げます。さて、長いようで短かったと思うこの二年を一言で表すならば、「楽しかった」です。通常の勤務だけでは決して触れる事の出来ない、貴重な体験をさせて頂きました。自社以外のプラント設備、社内規格そして管理書類一式、そのどれもが新鮮で驚きに満ち、私自身に新たな情報と知識、異なる視点を与えてくれました。それらは今まで当然と思っていた日常の業務への振り返りに繋がります。より効率よく効果的に動かせる部分が

あるのでは無いかと、一つ一つの作業を見つめ直すきっかけとなる一方で、日々行っている事が、間違っていないという自信ももたらせてくれました。この経験から得られた知識と情報を、全て還元するには少々歳をとり過ぎていて、抜け落ちてしまった方が多いかもしれません。何か一つでも実践できればと考え、これからの日常の業務に努めていきたいと思えます。本当にありがとうございました。最後にになりましたが、昨年の台風一九号により、大きな被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。一日でも早く日常を取り戻される事を心から応援しております。

品質管理監査員 を終えて

株式会社ホリウチ

堀内昌岳

平成三十年・令和元年と二年間に渡り監査員を務めさせて頂き、十九工場の監査に立会いました。

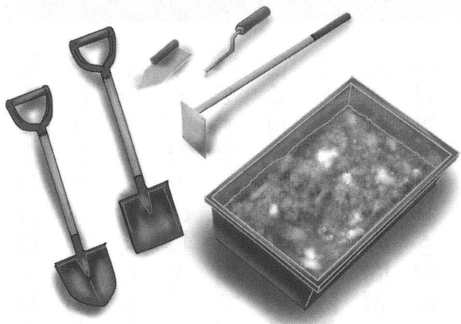
北は栄村から南は阿南町までと幅広く工場の立会いが出来たことは、自分にとって大きな経験となりました。令和元年では、JIS改正の年と重なり日常業務に加え慌ただしい中、工場の方には、丁寧な対応・ご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

北信地区から南信地区まで工場の立会いを行いました。材料・製造設備・配合等が全て同じ工場は無く、毎日が新鮮でかつ勉強でした。監査員の立場として立会いに行っていました。各工場の品質管理に対する姿勢、工場の創意工夫や取り組んでいる事、若手技術者の育成等、逆に学ぶ場面が多かったと思います。工場の方との意見交換が自分の知見を大きく広げ、偏った考え方を見直す良い機会になりました。監査員の立場上、守秘義務により制限を受けますが、優良的な取組に関しては、他工場に発信することも監査員の責務の一つと考えます。

今後、この業界は若手技術者が増えていく一方、今まで以上に厳しく複雑化して行くことが見込ま

れるので、監査制度を活用して人材の育成・技術力の向上をしていき、互いに切磋琢磨していくことが重要になっていくと考えます。この度の台風十九号の被害に遭われた工場に対して、お見舞い申し上げます。

工場に残っていた甚大な被害を垣間見ると共に当時の状況の話を伺うと、災害の恐ろしさを痛感しました。しかし、工場の復興に対する思いの強さを感じ、県内の工場の力強さを目の当たりに出来たことは、大変心強く思いました。一日でも早いご復興、従来以上の工場の姿になるよう心よりお祈り申し上げます。



令和元年度 コンクリート診断士・ コンクリート主任技士・技士 合格者名簿一覧表

☆コンクリート診断士試験合格者（4名）

安筑支部 松倉 充志 共和アスコン(株)

諏訪支部 大前 勉 クインスレミック(株)本社工場

下伊那支部 酒井 辰二 遠山生コンプラント協同組合

森 下行 宏 下伊那生コン協同組合共同試験場

☆コンクリート主任技士試験合格者（1名）

安筑支部 小林 早苗 (有)高瀬川生コン

☆コンクリート技士試験合格者（13名）

安筑支部 茅野 弘樹 マルモ生コン(株)

堀ノ内 輝雄 マルモ生コン(株)

松本支部 菅原 奈美恵 (株)高宮組

下伊那支部 田辺 涼介 阿南生コン(株)本社新野工場

鎌倉 和貴 遠山生コンプラント協同組合

佐久支部 小間沢 祐太 竹花工業(株)小諸生コン工場

櫻井 貴弘 (株)竹花組佐久チブ生コン工場

佐藤 良磨 (株)竹花組佐久チブ生コン工場

大塚 修平 (株)塩沢産業生コン事業部佐久工場

長水支部 宮澤 巧 信州生コン(株)大橋工場

倉島 政俊 信州生コン(株)大橋工場

上水支部 宮島 勇耶 宮島産業(株)宮島生コンクリート工場

木曾支部 倉本 貴幸 昭和産業(株)木曾生コン工場

コンクリート診断士
コンクリート主任技士・技士



コンクリート診断士合格者

診断士試験に再挑戦



共和アスコン株式会社
松倉 充志

生コンの試験業務から、三十数年携わっています。今は、アスファルト合材工場と生コン工場の製造部長を兼務しております。

身近な仲間が受験すると聞き自分も再度挑戦して見ようと思いましたが、

生コンの製造とは違い硬化後の構造物が対象となるため、いざ勉

強を始めると、細部まで奥深い問題が多く最初は自分の無力さを感じ挫折しそうになりましたが、集中出来るように少しお酒を抜き、勉強時間を一〜二時間と決め、なんとかモチベーションを継続することができたと思います。四択問題は、苦手な問題を重点に行うようにしたところ少しずつ理解することができ、解いている時間が最初よりも楽しくなってきたことを実感しました。また論文対策は、

自分の解答と、模範解答を何度か書いて比較してみました。

若い技術者の皆さんも継続し挑戦することで、達成出来ると思います。『為せば成る』の精神で、機会があれば、いろいろな資格にチャレンジしてみてください。

今回、合格通知が届き大変嬉しかったです。やっと安堵することができました。家族をはじめ応援してくれた皆様ありがとうございました。今後も、セメント・混和剤メーカーの皆様、工業組合、協同組合の先輩方にご指導頂き、新技術や情報等の知識を取り入れて行きたいと思えます。

コンクリート診断士合格者
目標に向かって



遠山生コンプラント
協同組合

酒井 辰二

私は、遠山生コンプラント(協)にて、現在工場長として、日々悩みながらも職務に邁進しております。今回、必ず取得すると頑張った

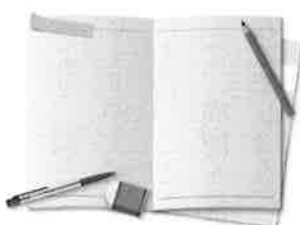
コンクリート診断士に合格ができて嬉しく思います。試験勉強としては、勉強時間を確保することが課題でした。家に帰ってから、いろいろとやっているのと九時頃から勉強となります。時間がたつにつれ睡魔や、今日はこの程度でいいや、と思う気持ちとの戦いでした。それらに打ち勝つため、「必ず合格」の旗を心に掲げモチベーションを持ち続けました。

四択問題については、過去問題をやり、「なぜこれが正解なのか、どういう理屈なのか」を考え、調

べ勉強しました。そうすることでより理解が深まりました。おかげで、当日には八割以上は正解できる自信がありました。

次に論文ですが、書いても何が正しいのか分からず、すつきりしない勉強です。うまく書けたと思う時、そうでない時の繰り返しでした。問題文や図、写真から劣化因子、状況を読み取り維持管理まで、スムーズに相手が読みやすい文章を一番に心がけました。当日も一連の流れでスムーズな文章を書くことができました。

私は診断士としてスタートラインに立ったばかりです。経験を積み知識、技術力を高めていきたいです。その他の知識も学習し、さらに突き進んでいきたいと思えます。最後に応援してくれた方、家族に感謝いたします。私はやりました。



コンクリート主任技士合格者 更なる飛躍のスタート 地点に立って



高瀬川生コン
小林 早苗

小林 早苗

私は、入社二十一年目で会社の様々な業務に現在携わっています。今回、主任技士となることができ、更に業務の幅を広げられることを嬉しく思います。

試験勉強は、過去問を中心に進めました。ただ、それだけでは知識が偏るので、講習会の参考書や問題集に自分なりに書き込んだオリジナルのものを作成する等工夫しました。過去の受験では、択一問題で加点できなかったのですが、今回は基礎から勉強し直すつもりで取り組みました。論文は、実務経験と技術系のを一本ずつ準備し臨みました。緊張のなかで実力を発揮するには、添削文の暗記ではなく、中身を自分の言葉に昇華

することも大きかったと感じます。また、最後まで諦めず時間一杯取り組むことも大切だと思います。

学生と違い、社会人は仕事の傍らで試験対策の時間を作らなければなりません。それには、自身のやる気だけでなく、周囲の協力も必要になります。私の場合、上司や同僚の協力があったからこそ合格できたと思います。皆に大変感謝しています。

主任技士となり、責任は重くなりますが、学んだ知識に実務経験を積んで、信頼される職員として日々精進したいと思っています。

合格発表日は、インフルエンザで病欠でした。技士合格の年もインフルエンザで、罹患はそれ以来でした。少しほろ苦く、懐かしい気持ちになりました。

今後ともよろしく願います。



コンクリート技士合格者 コンクリート技士合格



阿南生コン(株)
本社新野工場

田辺 涼介

阿南生コン新野工場の試験係の田辺涼介と申します。長野県最南端の現役パン型強制練りミキサの工場より、コンクリート技士試験合格を報告させていただきます。時折、博物館で見られないような代物だとか、営業はされているんですね、などと不安の声を耳にすることもありますが、とんでもありません。バリバリ現役営業までございます。

勉強方法としては、こちらのなまこん信州で過去の合格者の方々のコメントでも拝見されるように、セメントメーカーの通信講座、及び過去問にて勉強させていただきました。試験を終えた感想としては、過去問の勉強は必

須レベルだと感じました。過去問を解くことにより、似たような問題を解くスピードが上がり、心にある程度余裕を持つことができました。結果として、問題を見返す時間を多く作れるでしょう。しかし、私の場合は慣れない環境のせいか、開始一時間程度で尿意が我慢できなくなっていました。試験開始後は、仮にトイレ退室であっても再入室禁止ということで緊張してしまっただと思います。結局一度も見直す余裕がなく、途中退出することにしました。試験後に問題を見直しましたが、もう一度確認すれば正答できた問題があり、悔やまれました。これが最後です、と怖い顔して試験官が忠告しますが、恥じることはありません。

少しでも不安なら試験開始直前でもトイレに行くことをお勧めします。

余談が長くなりましたが、今後一層資格、技術の取得に励み、会社及びこの業界に貢献できたらと思います。未熟者ではありますが、今後ともよろしく願います。

経営者セミナーが 開催されました

当工業組合・協組連は、令和元年十月二十五日に諏訪市内において、第三六回経営者セミナーを開催しました。

講演1
テーマ：「岡谷・諏訪の製糸業」
講師：元長野県立歴史館総合情報課長
宮下 健司氏

岡谷・諏訪地域は、なぜ製糸業が盛んになったかを説明して頂きました。



空気が澄んでおり、蚕を飼う条件に適していました。地元出身の片倉兼太郎氏が先人となり広め、水車を動力とし、陶器製の繰糸機や中山社製蒸気釜を最初に取り入れました。新たな繰糸釜を開発し、鉄道の普及もあり、相撲の番付表ならぬ生糸の番付表では片倉製糸が別格で、日本に留まらず世界展開にも成功しました。

一九〇九年には生産量世界一となり日本の市場では長野県は三割を占めていました。

工場が二四社もあり、その工場の煙突から出る煙で「岡谷・諏訪のスズメは黒かった」と言われるほどだったそうです。

また、地元住民の社会福祉にも貢献し温泉施設の「片倉館」を創設しました。当時では画期的な二重窓の採用や空調設備等を取り入れました。現在でも営業をしており、レトロモダンで非日常的な雰囲気を楽しめるそうです。

なお、関連事業としては、三井財閥の中心人物の一人である「製紙王」と藤原銀次郎が支配人を務める富岡製糸場を傘下にし、片倉兼太郎氏は一億円をかけてメンテナンスをし、結果世

界遺産に認定されるまでとなりました。一方で、製糸業に金融的に貢献した黒澤鷹次郎は、上田市の第十九国立銀行の創設にも関わり、蚕の繭を担保にすることを可能にしました（世界恐慌に見舞われた後、松代町の六十三銀行と合併し、現在の八十二銀行が誕生）。そして、繭の保管場所として倉庫を建設し、現在の諏訪倉庫株式会社の原点ともなりました。なお、ネット検索や諏訪倉庫株式会社のホームページを拝見してもその当時の記載がなく、知る人ぞ知る貴重なお話を頂き、明治期以降の県内全般の歴史について学ぶ、大変有意義な時間となりました。

講演2
テーマ：「足立敏之参議院議員の最近の活動について」
講師：足立敏之参議院議員 政策秘書
岡積 敏雄氏

生コン議連のメンバーである足立敏之参議院議員の最近の活動について、「コンクリートなしでは人は守れない。」とし、ハッ場ダムの試験湛水中に一日で貯水率が一〇〇％に到達し、大きな成果を遂げました。



また、国土強靱化対策の臨時・特別の措置として補正予算が組まれたが、これは消費税対策に備えてのもので、公共事業等の予算を増やしていません。足立氏は、ハッ場ダムの実際の効果を例に挙げ訴えました。皆様の活動をPRし、生コン業界の繁栄を願うとしました。

協組の話題 北から 南から

千曲川災害に 思いを馳せる 中島裕貴

有限会社南木曾生コン工場
中島裕貴

昨年台風十九号豪雨災害による千曲川氾濫のニュースをテレビで見ても、かつてわが町を襲った自然災害を思い起こしました。平成二十六年七月九日、大規模な土石流が南木曾町を襲い、死者一名、住宅十棟全壊、JR中央線鉄橋が流され、国道にも土砂が大量に流出し、交通は完全に遮断されるなど、甚大な被害を受けました。

弊社も被災し、工場敷地内に大量の土砂が侵入。骨材ストックヤード及びベルトコンベアが埋まり、再稼働までに約二週間の時を費やしました。被災地域での泥出し作業をニュースで見ていると、当時の状況を思い返し、いたたまれない気持ちになりました。

その後、南木曾町では大がかりな災害復旧事業が始まり、砂防堰堤の改修および新設、道路、橋梁、河川の整備などが行われ

ましたが、それらのすべては当工場で製造されたコンクリートと木曾郡内の建設業社によって施工されました。十数年間不況に喘いでいたこの地域の建設業界が、復旧事業を完成させたことにより、力を失っていないことを証明することとなったのです。

先日、長野県二〇二〇年度予算案が公表され、台風十九号復興事業に多くの予算が組み込まれていました。今後、被災地域を中心に生コンクリートの出荷が増大し、近隣工場は多忙を極めることになるかと予想されます。僥倖ながら申し上げますと、繁忙期に得た経験は、大きな財産になるかと存じます。当時入社して間もなかった私ですが、毎日の出荷に追われながらコンクリートの知識や機械操作を覚え、製造設備のメンテナンス方法を学び、納入の打ち合わせに現場まで足繁く通い顔を覚えてもらったことも、今となっては良い経験だったと思います。

最後に、今回の災害で亡くなられた方々にご冥福をお祈りすると共に、被災地域の皆様の平穏な日々が一日も早く戻ることをお祈り申し上げます。

事務局
だより

活動報告・予定

自：令和元年9月
至：令和2年5月

令和元年度

- 12月18日 第三回監査員会議
- 12月18日 第三回品質管理監査会議
- 12月20日 第七回正副理事長会議
- 12月23日 第六回理事会
- 12月23日 国・県発注機関への新年表敬訪問
- 10月5日 第四回正副理事長会議
- 10月5日 第四回理事会
- 10月19日 第一回技術者養成講習会(安筑)
- 10月19日 第二回技術者養成講習会(佐久)
- 10月25日 第五回正副理事長会議
- 10月25日 第五回理事会
- 11月11日 第三十六回経営者セミナー
- 11月11日 長野県建設部への要請
- 11月25日 第六回正副理事長会議
- 11月25日 (二社)長野県砂利砕石業協会との懇談会
- 12月11日 事務(局)長会議
- 12月13日 長野県建設部への要請
- 12月18日 第三回監査員会議
- 12月18日 第三回品質管理監査会議
- 12月20日 第七回正副理事長会議
- 12月23日 第六回理事会
- 12月23日 コンクリート舗装技術向上研修会
- 1月30日 第八回正副理事長会議
- 1月30日 第八回理事会
- 2月3日 第三回技術委員会、協組技術委員長・技術部会長合同会議
- 2月3日 令和元年度品質管理監査報告会・技術研究発表会
- 2月17日 第九回正副理事長会議
- 2月17日 第八回理事会
- 2月17日 県議会議員との懇談会
- 2月27日 長野県コンクリート技術講習会
- 2月27日 第二回労働安全衛生委員会
- 3月14日 品質管理責任者講習会
- 3月30日 工組・協組連会計監査
- 3月30日 第十回正副理事長会議
- 4月17日 令和2年度 第一回正副理事長会議
- 4月17日 第一回理事会
- 5月25日 第二回正副理事長会議
- 5月25日 第二回理事会
- 5月25日 工組・協組連通常総会

編集後記

この冬は暖かい空気に覆われ、過ごしやすい冬となったのではないのでしょうか。

令和元年後期は、消費税一〇%の導入・沖縄県の世界遺産である首里城跡の消失・十月十二日(土)から十三日(日)にかけての台風十九号の被害等、出来事がありました。特に、台風十九号は、東海と関東、甲信越、東北地方を襲い、各地で河川の堤防の決壊や氾濫による浸水、土砂崩れなどが多発し、非常に広範囲に甚大な被害をもたらしました。心からお見舞い申し上げます。

さて、工業組合主催により、二月三日に「技術研究発表会・品質管理監査報告会」及び、二月十七日には「長野県コンクリート技術講習会」を開催しました。また三月十四日長野市において、「品質管理責任者講習会」を開催する予定です。

今後も、生コンクリートの技術の向上やコンクリート舗装の普及推進に向けて、研修会、講習会を開催し、行政機関及び関連機関等並びに各組合員へ発信していきたいと思えます。

生コン業界も多くの地域で大変厳しい状況が続きますが、各組合員・支部(協組)と工業組合との連携を強化し、生コン業界の動向や品質監査・技術等に関する情報を積極的に「メール情報」等を利用して、発信して参りますのでよろしくお願いたします。

品質管理責任者講習会